

おはよう21

OHAYO21

4

April

2007



特集

ここがポイント! 介護記録の情報化

誰もが取り組めて、ケアの質の向上に役立つ情報化とは?

編集協力 ● 村井祐一 (田園調布学園大学 地域福祉学科助教授)

介護現場からはいま、記録に追われてしまう、
記録の時間が生み出せないなどの声が聞こえてきます。
情報開示や訴訟などの資料としても求められる記録。
介護の質を上げるためにも、情報処理の工夫が求められます。
しかし、情報伝達という本質を損なったIT化では、
いたずらに機器に振り回されるといったことに陥ります。

好評連載

第20回介護福祉士国家試験予想問題(老人福祉論)

新連載

『生活支援』の介護を考える

森繁樹

連載

「福祉用具から排泄ケアを考える」

浜田きよ子

「介護職のためのケアプラン講座」

坂本宗久

中央法規

在宅特集

介護予防訪問介護と記録のツボ

昨年4月からスタートした「介護予防訪問介護」。「何でも手伝う介護」から、「自立を支援する」かわりに戸惑われている方も多いのではないのでしょうか。そこで今回は「介護予防訪問介護における「自立支援」の考え方や、それに伴う記録について考えてみましょう。」



おはよう ウォッチング



OHAYO WATCHING

特別養護老人ホーム
「かざし」の里
(長野県飯田市)